

令和3年8月30日

保護者 各位

沖縄県立大平特別支援学校  
校長 大城 政之

## 新型コロナウイルス感染症対策（お知らせ）

～地域の感染レベル3における校内感染対策リスクマネジメントチェック項目～

平素より、本校における感染症対策にご理解とご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。  
さて、本校も8月31日より分散登校にて2学期がスタートします。

学校においても「地域の感染レベル3における校内感染対策リスクマネジメントチェック項目」を作成し、感染症対策の徹底を行ってまいります。ご家庭においても、「校内感染対策リスクマネジメントチェック項目」を確認し、感染症対策の徹底のご協力をよろしくお願いいたします。

### 記

- 1 校内感染対策リスクマネジメントチェック項目 （別資料）
- 2 本校の地域感染レベル 3-2
- 3 感染予防対策について協力願い
  - (1) 新型コロナウイルス感染症対策「地域の感染レベルにおける校内感染対策リスクマネジメントチェック項目」をご確認し、ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。
  - (2) 分散登校により、登校しない日の不要不急の外出を慎むよう、ご協力をお願いします。
  - (3) 家庭内での感染症予防対策（手洗い、換気、消毒等）の徹底の協力をお願いします。

〈問い合わせ先〉  
県立大平特別支援学校  
教務 平良  
TEL (098) 877-4941



## 新型コロナウイルス感染症対策

### (地域の感染レベル3における校内感染対策リスクマネジメントチェック項目)

新学期を迎えるにあたり、以下の点について点検を行い、感染症対策に万全を期しましょう。

#### (1)「感染源を断つ＝健康観察の徹底」

- 児童生徒の登校後速やかに、検温シートを活用し検温結果や健康状態を把握する。
- 児童生徒が発熱のみならず、発熱や風邪症状（頭痛・鼻水・咳・関節痛・下痢など）や倦怠感などの体調不良がみられる場合は、解熱または症状がよくなるまでは登校を控え、かかりつけ医等の身近な医療機関を受診するよう保護者に促す。
  - ※ 風邪の症状がある間は登校を控え（出席停止）受診時主治医に症状が消失後、いつから登校していいかについて確認してもらう（再登校の基準の確認）。
  - ※ 医療機関を受診しない場合は、解熱剤等を使用せずに症状が消失した後、72時間経過してから登校させる。
- 同居家族等に発熱やかぜ症状がある場合、症状がよくなるまでは、本人に症状がなくても出席停止となる。
- 登校時や登校後、児童生徒に風邪症状が見られた場合には早退となることを理解し、部主事や保健室に相談し対応する。
- 下校前にも検温及び健康観察を行い、熱や体調不良がみられる場合は保健室に相談する。

#### (2)「感染経路を断つ」

- 6つのタイミングで手洗いの徹底をする。※手洗いができない場合は、アルコール消毒薬を使用する。
  - ①咳やくしゃみ、鼻をかんだとき ②トイレの後 ③外から教室に入るとき
  - ④給食（食事）の前後 ⑤共有のものを触ったとき ⑥掃除の後
- 正しいマスクの着用（鼻と口の両方を確実に覆う、隙間が生じないように顔にフィットさせる）について促す。
- マスクを外している場合は近距離での会話を控える・身体距離（2m）を確保する。
  - ※身体的距離が十分とれないときや換気が不十分と思われる場などでは原則としてマスクを着用。ただし、熱中症予防の観点も含め臨機応変に対応。
  - ※一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ち、次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果がある。（図1）
  - ※本人の調子が悪い場合や、持続的なマスクの着用が難しい場合は無理して着用させる必要はない。
- 給食、教職員の食事・間食を含め、すべての飲食の場面において、飛沫を飛ばさないような席の配置や、会話を控えるなどの対応を工夫する。
- 食後の歓談時には、マスク着用する。

裏面に続く

- 給食後の歯みがき中は間隔を取り、おしゃべりをせず、口を閉じて、前歯の裏は口を手でおおって磨き、ぶくぶくうがいは少ない水で吐き出すところは低いところでゆっくりとするよう指導する。  
※職員による介助みがき、仕上げみがきは感染症対策が不十分のため控える。
- トイレ介助等での排泄物（尿・便・経血）の処理には使い捨て手袋を使用する。

(3) 「3つの密（密閉・密集・密接）を防ぐ」

- 教室等の換気をする。（常時または 30 分毎）
- 教室等において、児童生徒の間隔を可能な限り 2 m（最低 1 m）を確保するように座席を配置する。

【密接の条件が発生していないか】

- 近距離で対面式となるグループワークはないか
- 近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動はないか
- 近距離で一斉に大きな声で話す活動はないか
- 室内・近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏はないか
- 近距離で活動する調理実習はないか
- 密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動はないか

「感染症対策を講じてもおお感染のリスクが高い学習活動」※文科省衛生管理マニュアル第3章1より

(4) 「教室・授業環境の整備」

- 教室の清掃を毎日行い、児童生徒がよく触るドアノブ、椅子、机の上、共有の用具・物品などはケミガードやアルコールを使用して消毒する。
- 共有の用具・物品等は可能な場合は共用を避け工夫をし、難しい場合は使用後の手洗いを徹底する。
- 給食前後は机の上を消毒する。
- 給食後の食器や残飯の片付けは必ず職員が行う。

(図1)

